

[抄録様式]

<p>公益社団法人 8020 推進財団 平成 29 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：保護者の喫煙による子供のう蝕への影響とその予防対策 ～保護者への禁煙指導と小児の齲蝕予防の取り組み～</p>
<p>2. 申請者名：後藤 拓朗</p>
<p>3. 実施組織：三豊総合病院企業団 歯科保健センター 九州大学大学院 歯学研究院 口腔予防医学分野</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>香川県の「歯と口腔の健康づくり基本計画」では、う蝕のない3歳児の目標値を90%（H23年実績74.2%）としている。また当院が位置する観音寺市は「元気印のかんおんじ21 第2次ヘルスプラン」にて目標値をう蝕罹患率20パーセント未満としているが、H23年度は28.2%となっており現在目標には到達していない。</p> <p>近年の報告では保護者の喫煙と小児の齲蝕の関係が指摘されている。そこで観音寺市で乳幼児歯科検診を受けた保護者を対象にアンケートを行い実態を把握するとともに、歯科保健指導を行い乳幼児の齲蝕予防を行っていく。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月に観音寺市保健センターで行われた 1 歳半及び 3 歳児歯科検診において歯科保健及び喫煙状況についてのアンケートを行い、歯科検診結果と共に問題点を把握し歯科保健指導を行う。</p> <p>アンケートの内容は家族構成・日中の扶養者・保護者歯科定期受診・生活リズム・朝食の有無・飲料の内容・おやつとの回数・フッ素塗布の有無・仕上げ磨きの有無・食器の共有・両親の喫煙の有無・喫煙場所・喫煙本数・卒乳の有無とした。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>1 歳半児歯科検診受診者の 39.4%、3 歳児歯科検診受診者の 43.6%において保護者の喫煙が認められた。また、そのうち約 40%が屋内での喫煙であった。また、3 歳児の齲蝕罹患率は 21.3%であった。</p> <p>当該地域の特定健診受診者の喫煙率は 20 パーセント台であったが、乳幼児の保護者世代では喫煙率がかなり高いことが分かった。これは乳幼児歯科検診時の歯科保健指導時が、禁煙指導の格好の場所になることも示している。</p> <p>今後の課題は禁煙指導を受けに来ている訳ではない保護者に対して、どのように禁煙指導を受け入れてもらうかである。自身の健康と子供の健康を考えてもらえる場にしていきたい。</p>